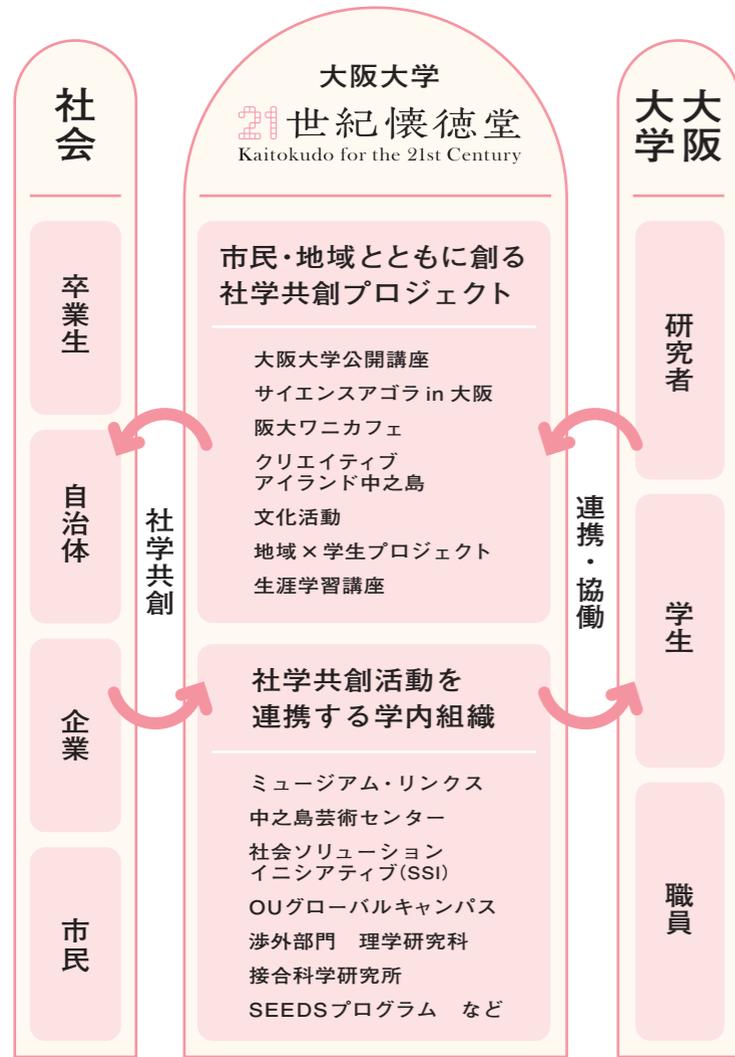


## 21世紀懐徳堂のさまざまな共創



### 社学共創とは

大阪大学(OU)は、教育研究活動の成果を大学から社会に還元するとともに、社会と共に考える中で新たな課題を発見し教育研究の場に持ち帰り、さらなる社会の発展に貢献する成果を生み出すことをめざします。この循環の輪を「OUエコシステム」と称して活動する大阪大学において、21世紀懐徳堂は地域、社会及び市民と大学とを結ぶアウトリーチ活動を通じて社学共創の輪を広げ、支援する役割を果たす組織です。

<https://21c-kaitokudo.osaka-u.ac.jp>

〒560-0043

大阪府豊中市待兼山町1-13(大阪大学会館内)

office@21c-kaitokudo.osaka-u.ac.jp



最新情報はこちら

### 【大阪大学21世紀懐徳堂支援事業】

社会と大学をつなぐ21世紀懐徳堂の活動に、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

#### 【ご寄付の方法】

大阪大学へのご寄付につきましては、さまざまな方法をご用意しております。ホームページからご寄付のお申し込みや払い込み用紙の請求が可能です。右下の二次元バーコードを読み取ってご確認ください。

#### 【税制上の優遇措置】

##### ①個人のご寄付の場合

###### 【所得税の減免】

(寄付金額-2,000円)を除いた額を所得から控除

※当該年度の総所得金額等の40%が上限

###### 【住民税の減免】

※詳しくはお住まいの市区町村までお問い合わせください。

###### 【遺贈等の税務】

「遺贈」または「相続財産によるご寄付」の場合、一定の条件下で、相続税非課税対象および寄附金控除適用となります。詳しくは、未来基金事務局の担当者へご相談ください。

##### ②法人のご寄付の場合

寄付金の金額を、一般の寄付金の損金算入限度額と別枠で、損金算入することができます。

#### 【ご寄付への感謝】

「感謝状の贈呈」「大阪大学感謝の集いへのご招待」「高額ご寄付者顕彰」などがあります。

#### 【お問い合わせ】

ご不明点などがございましたら、お気軽にお問い合わせください。

##### ・ご寄付について

大阪大学未来基金事務局

E-mail: kikin@office.osaka-u.ac.jp

・大阪大学21世紀懐徳堂支援事業について

大阪大学21世紀懐徳堂

E-mail: office@21c-kaitokudo.osaka-u.ac.jp



寄付に関してはこちらから

# 21世紀懐徳堂

生きがいを育む  
知のネットワーク拠点

## 社学共創から生まれる、 生きがいを育む社会

大阪大学の精神的源流は2つあります。ひとつは緒方洪庵の「適塾」ですが、もうひとつは、大坂の商人たちが身分の枠を超えて学問を通じ自己研鑽することをめざして1724年に創設した学問所である「懐徳堂」です。「21世紀懐徳堂」は、その向学の気概を今の時代に伝え、つなぐために、市民と共に学ぶ場、知のネットワークの拠点となるべく2008年に創設されました。本学の教育研究活動の成果を社会へ伝えるアウトリーチ活動を基盤に、さらに社会の中で市民と共に考える社学共創の営みを通じて、21世紀懐徳堂は生きがいを育む社会を創っていきます。

### 大阪大学のシンボル・大阪大学会館

大阪大学会館(旧称イ号館)は、1928年に旧制浪速高等学校の校舎として建てられ、学制改革により大阪大学に移管されました。2004年には、国の登録有形文化財建物に登録されています。大阪大学が創立80周年の節目となる年を迎えるにあたって、「阪大人の共通の思いを寄せる施設」、さらには、「大阪における学術の伝統を受け継ぐシンボル」として、新たに整備されました。現在では、社学共創活動を担う21世紀懐徳堂、ミュージアム・リンクスの拠点ともなっています。



21世紀懐徳堂では様々な「社会学共創プロジェクト」を行なっております。プロジェクトの内容をご紹介します。

## 大阪大学公開講座

研究者の知を還元し市民の対話から次の教育研究へ

第一線で活躍する大阪大学の研究者たちが教育研究の成果を社会に還元する活動で、半世紀を超える歴史を刻みます。共通のテーマのもと、研究者たちはそれぞれの専門分野を一方向的に語るのではなく、参加者と対話を行ない、共に考えることが特徴です。また対話から、新たな課題を見出し、次の教育研究の創成へ結びつける場ともなっています。

1968年に今日につながる公開講座がスタートしました。当初は「開放講座」と称し、「中之島講座」「21世紀懐徳堂講座」を経て2012年から「公開講座」となりました。大阪大学創立90周年・大阪外国語大学100周年記念事業による改修工事を終えた中之島センターで再び、第55回から開催しております。素晴らしい施設と美しい景色を眺望できる環境にも、好評をいただいています。



## サイエンスアゴラ in 大阪

科学と社会をつなぐ

日本最大級のオープンフォーラム

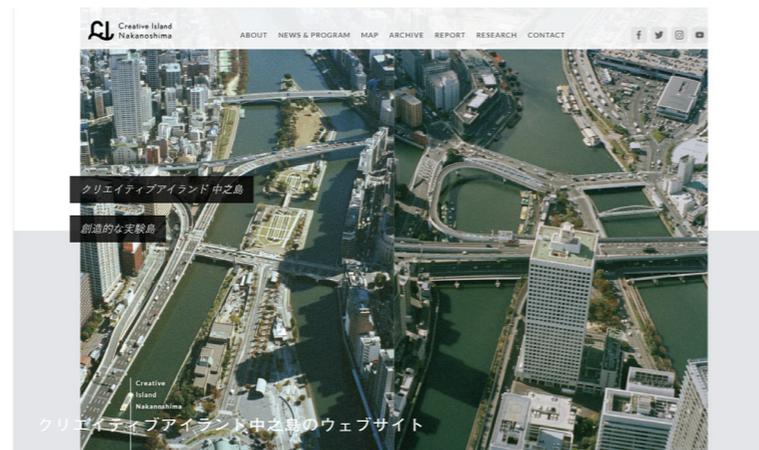
サイエンスアゴラは、科学技術振興機構(JST)が主催するあらゆる人に開かれた科学と社会をつなぐ広場の総称です。大阪大学では、2019年度に都市防災をテーマに「サイエンスアゴラ in 大阪」を開催し、さらに2025大阪・関西万博に向け、多様な価値観が交錯するラウンドテーブルとして、2021年度から中之島を舞台に開催しています。



## クリエイティブアイランド中之島

「創造的な実験島」で13の機関が人と人、人と文化をつなぐ

中之島は、美術館などの文化施設や歴史的建造物、公園や水辺の自然が共存する「水都大阪」を象徴する都市の中州です。「クリエイティブアイランド中之島」は、大阪大学21世紀懐徳堂を含む13機関による創造ネットワーク組織であり、中之島全体を「創造的な実験島」として、さまざまな企画と活動を通じて“世界の中之島”の発信向上をめざしています。



## 地域 × 学生プロジェクト

キャンパスから地域へとびだそう

大阪大学の基本理念「地域に生き世界に伸びる」をモットーに、学生たちと共に様々な市民活動(地域活動)を展開しています。キャンパス内にとどまらず地域に出て、哲学カフェや市民演劇などの企画・運営を行ないます。学内向けの授業「地域活動と対話」では、市民・専門家との対話やフィールドワークを通じて市民活動(地域活動)の在り方について学生たちと議論します。



## 生涯学習講座

箕面キャンパスでは  
オープンスペースで地域交流を

21世紀懐徳堂は、2021年4月に箕面市の市街地・新船場に移転した箕面キャンパス(Osaka University Global Campus)とも連携しています。外国語学部を中心に国際的な文化活動に力を入れるOUGCと協力して、市民へのアウトリーチ活動を実施。ほかにも阪大広場やピロティ、シンボル広場などのオープンスペースを活用し、地域の方々との交流を促進しています。



## 文化活動

さまざまな文化活動を展開するとともに、  
地域に密着した情報発信

北摂地域のコミュニティFMと連携して、レギュラー番組で情報発信をしています。21世紀懐徳堂の公開講座、クリエイティブアイランド中之島などのもと、大阪・関西万博で披露される予定の阪大の研究・活動なども紹介しています。また、地域の情報を発信するポータルサイトにて、21世紀懐徳堂主催のイベントなどを発信し、地域とのつながりを深めています。



## 阪大ワニカフェ

専門家との自由な語りから身近な問題を考える

人文、社会、自然科学のさまざまな分野の専門家が最前線の知を参加者と共有し、参加者と一緒に考えていく試みです。カフェのような打ち解けた空間で、身近なテーマを参加者自身の問題として自由に発言し合う双方向の対話をめざしています。「ワニカフェ」の名称は、阪大の公式マスコット「ワニ博士」に由来します。

